

木を使うといいこといっぱい

住宅の種類による炭素の放出量と貯蔵量

木造住宅を建てる場合、他の住宅を建てるより環境に対する負荷が少なくてすみます。これは木材が自然の中から生み出された資源であり、自然の姿のまま利用できるからです。

住宅種類別の炭素貯蔵量

木造住宅には木材が**いっぱい**使っているんだね。

木造住宅

6
炭素トン

鉄骨プレハブ住宅

1.6
炭素トン

鉄筋コンクリート住宅

1.6
炭素トン

材料製造時の炭素放出量

鉄骨や新素材を作るのに、**たくさん**のエネルギーが必要なんだね。

5.1
炭素トン

14.7
炭素トン

21.8
炭素トン

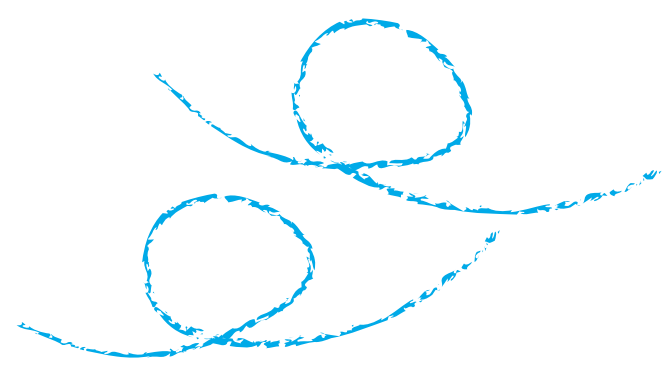
※平成22年度版森林・林業白書

木のあるくらしは気持ちいい

木に**囲まれた暮らし**は、私たち人間にとっても様々な面で快適性を増してくれます。

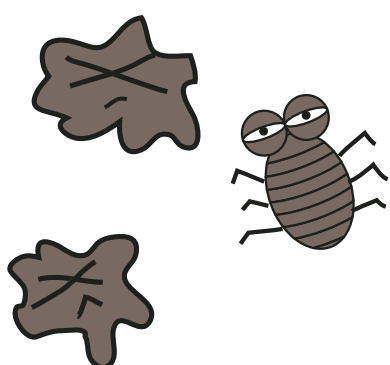
適度な湿度を保つ自然のエアコン

木は、湿度が高すぎる時には水分を吸収し、乾燥時には逆に水分を放出し、空気中の湿度を調整してくれます。



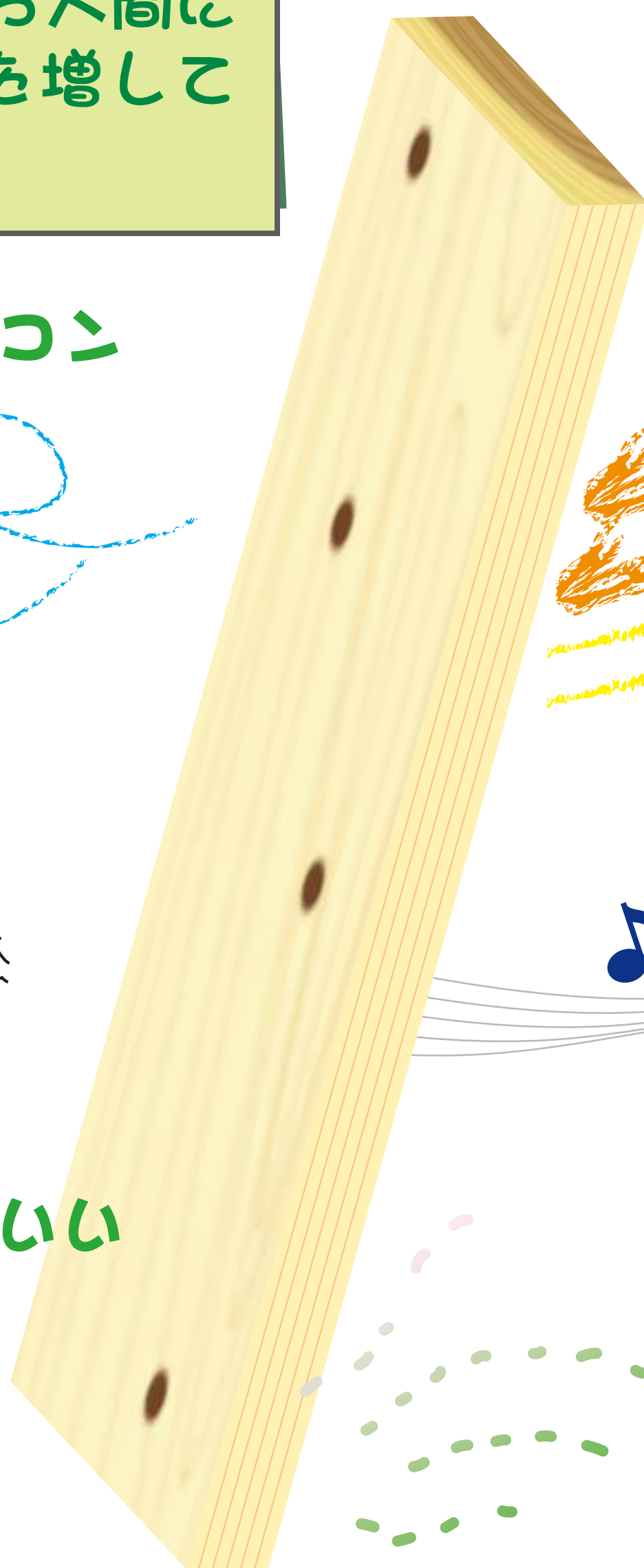
カビダニ防止で衛生的に

湿度を調整してくれるのでカビの発生が抑えられます。また、一部の木材に含まれる精油成分にはダニの抑制効果もあります。



衝撃をやわらげて素足が心地いい

コンクリートに比べ木に落ちたボールは衝撃が吸収され跳ね返りにくくなります。人間が歩く場合にも歩く振動を吸収し疲れにくいのです。

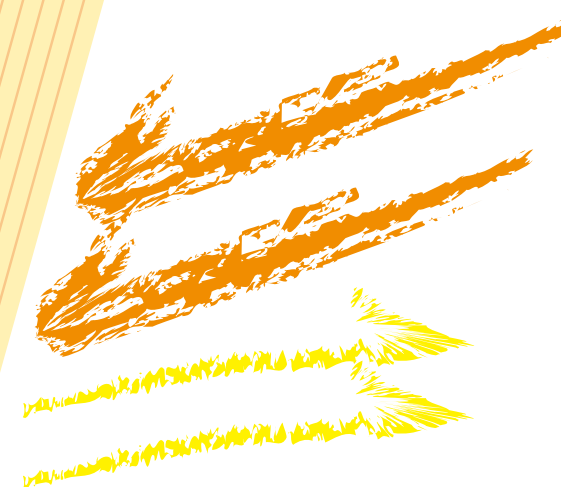


冬暖かくて夏涼しい省エネ素材

木の細胞の中には**空気**が多く含まれています。そのため熱が伝わりにくく、外部の寒さや暑さが緩和されます。

木目は目にもやさしい

木の表面に反射した光は、木の表面の細かな凹凸で光を分散させるのと同時に、有害な紫外線を吸収してくれます。



不快な音を吸収してくれる

木は、高温・中音・低音をバランスよく吸収し、程よい残響音を残すので耳障りよく心地よい音に聞こえます。



木の香いでストレスフリー

木の香りは、疲労回復やストレス緩和のリフレッシュ効果を促進する効果があります。

